第 63 号

アスチカとぴっくす

2019 年8月 1 日発行　　発行元　ひろしま避難者の会「アスチカ」

アスチカ ＝「明日へすすむカ」。
東日本大震災・原発事故の影響により広島へ来た避難者が、避難生活を落ち着かせ次のステップに踏み出すことをサポートする当事者団体です。

〒733-0003　広島市西区三篠町 2 丁目 15-5　tel: 082-962-8124　fax: 082-962-8125
URL: hiroshimahinanshanokai-asuchika.com　email: hiroshima.hinan@gmail.com

若者活動サポートセンター

ひろしま土砂災害応援

西区お茶会サロン

（ＪＲ西日本安心社会財団助成事業）

発起人　福原直美さんインタビュー

「たねまく広場」を利用して開催されている「お茶会サロン」。この企画は一人の女性の思いから、５年前の広島土砂災害の被災者応援のために始まりました。５１回目のサロンを終えて、お話をお聞きしました。

― 今回のサロンはいかがでしたか？

７月は、雨が多い時期なのでいつも「開催していいのかな？」と思います。でも、今回もやってよかったと思いました。今回、参加された皆さんが、今までで一番前のめりに話を聞いて、話をしているように感じました。みんなが心を開いているような、みんなの気持ちが一つになってるような…。それも、５１回続けてきたからこそのことなのかなと思います。

― ５１回。長く続けていらっしゃいますね。

公民館で、一人で、始めていたら今も続いていたかな…と思います。やりたい気持ちだけで始めましたが、１年目の夏が一番しんどかった。続ける厳しさ、行き詰まりをその時にとても感じていたのですが、アスチカの三浦代表が続けられるようサポートしてくださり、背中を押してくれました。２年目は、アスチカに加え、関わっていた南相馬ボラバス応援隊からの支えもいただいて続けられました。３年目に三浦代表の紹介で土砂災害の被災地にある団体として被災者の支援もされていた「若者活動サポートセンター　あおぞら」とつないでいただき、「あおぞら」の団体の活動の一つとして助成金を取って活動を続けることができるようになりました。個人で始めたものが今は団体の活動の一つとなって、その団体の一員になって活動していて、心強い気持ちでいます。その時その時、いろいろな人に出会い、助けていただいています。

― 南相馬ボラバス応援隊が、福原さんとアスチカの出会いのきっかけでしたね。

東日本大震災で人生観が変わりました。東北に心を寄せていたのですが、友達が「南相馬ボラバス応援隊」というものに参加して東日本大震災・原発事故で被災した南相馬でサロンを開いてきたと聞き、「私も被災された方の近くへ行って応援したい」という思いで、参加しました。現地に行って、１～２時間のサロンを開くととても喜んでくれて、ご縁がつながりました。
そんな活動をしている中で、広島で土砂災害があり、「福島で被災者の支援をしているのに、広島で何もしなくていいのかな？」という思いをかかえるようになり、そんな時に三浦代表とお話する中で、ひろしま土砂災害の被災者のためのサロンを「たねまく広場」で始めることになったんです。本当は被災地に行ってやるのがよ

いのだろうと思うのですが、私の住んでいるところと被災地の中間地点にある「たねまく広場」であれば私も続けられるのではと思いました。ここでやれば、アスチカのことも知ってもらえて、アスチカを応援することにもなると思って。

― 「お茶会サロン」では毎回、お昼ごはんをみんなで一緒に食べられていますね。

実は周りの人から、「ごはんを食べるとなると来る人は構えてしまいそう。『一緒にお茶しましょう』ぐらいの方が気軽に来やすいのでは？」と言われました。でも、ごはんを出すことにこだわっています。いろいろな支援があるけれど、元気がないとそういったものがその人に入っていかないと思うんです。元気を出してもらうには、食べることは大事。一人一人には「生きる力」があって、それが戻るようにと思います。

― ごはんを食べて「生きる力」を育むということですか？

ううん。育むなんて、とんでもない！そんなことは出来ないです。誰でももともと「生きる力」があるんです。しんどい時はその力が発揮できなくなってしまうことがあるから、それが戻るように後押しをしたい。しんどい時も顔を合わせて、聞き合って、ごはんを一緒に食べる。ごちそうは用意できないけれど、体にやさしい家庭料理で後押しをして、苦しい思いは代りに背負ってはあげられないけど、分け合って共に歩きたいという気持ちです。私が入っている「広島友の会」での考えに通じているところです。

― 災害の被災者支援をされている一方、昨年の豪雨災害では福原さんのお住いの辺りに被害がありました。

住んでいるところが被災地になったんですが、被災者という実感はないんです。近所の方を見ていて、１週間の中でもみんなの心がいろいろと変わっていくのが見えました。土砂に覆われたり、家が流されたりというのもあるんだけど、被災って、「物」ではなく「心」が被災するんだって思いました。そして、だからしゃべる場が大事！サロンが必要！ってすごく思いました。

― これまでの「お茶会サロン」を振り返って、今、思うことはありますか？

毎回、やる前は不安です。でも、やり終えるとみんなも元気になって、私も元気をもらえて、「またやろう」って思います。誰かのために動くと元気になります。だから、お互い様、ですよね。
最初は自分が災害を体験していないので、しなくちゃいけないと思って被災状況の写真を見たり、ビデオを見たりしていたのですが、段々とそればかりではみんなしんどくなるし、皆さんの様子に合わせてほっこりする時間を優先するようになりました。みんな普段頑張っているんだから、ここではくつろいでほしいなと。そして、「みんなしゃべりたいんだ」って感じるようになって、今回のサロンは特に、みなさん積極的に話をしたり、聞き合ったりできました。

始めるときは、お友達になっていた東日本大震災の避難者の方にもずいぶん応援してもらいました。学生さんも手伝いに入ってくれて、学生の「復興支援」の学びの場にもなっています。私は「お茶会サロン」を自分自身がやりたいからやっていて、そうして続けていると関わっている方、１人１人の人間味とか人生が見えてくる。それで「人って素敵だなぁ」って思っています。やってよかった。続けてよかった。そんなにたくさんの方が来るわけではないけれど、終わる支援がある中でも続けることで、一度足を運んでくださった方は「なんとか続けんさい」とさらに背中を押してくださる。人が集まると、何かが生まれますね。
出会いは喜びです。不思議なんですが、お茶会サロンで出会う方は東北への思いやご縁を持っている方が多いんです。三味線の演奏をしてくださる槙原さんは「新相馬節」をお父様から教わった方で、東日本大震災が起きたあの時間は「新相馬節」の演奏中だったそうです。出会うべき人と出会えている気がします。

8月「たねまく広場」での催し

お問合せ・お申込みはアスチカ事務局まで。
Tel：082-962-8124　　Mail：hiroshima.hinan@gmail.com

お気軽にご参加ください♪

一　般　利　用

広島の方が主催の催しです。広島の方が「たねまく広場」を利用してくださることで、新たな広島の方とのご縁をいただいています。

ルナさんの占い

お申込みは下記 HP「占いの花束」でも **OK！**
https://www.uranai-hanataba.com/

イベント→ルナでご予約下さい。

年・月・日・姓名をもとに数秘術、九星気学などの15 種類の占いのエッセンスを統合した画期的な占い「心呼吸」してみましょう！

日　時：8月21日（水）13:30～15:30
参加費：1000円（ドリンク付）
占い師：ルナ

8 月 の お 休 み イベント

「鍼灸治療@たねまく広場」　**次回：9月20日（金）**
「cooking studio Reve クッキングレッスン@たねまく広場」**次回：9月9日（月）**
「西区お茶会サロン」　**次回：9月21日（土）**

今月の一篇

壁飾り

向日葵は咲いたか
あさがおはまだか
くりかえし
何かを探して
なかなか辿りつかない
何かを求めて
うろついていたボクに
来るはずのない
宅急便が届いて
ホッと
一息つきました。

手作りの
「お多福」の壁飾りです
早速
四畳半御殿の
玄関に飾る

優しく
強く
にこやかに
なにかいいことありそうな
きっと
いいことあるように

「長き不在　フクシマを生きる」　　藤島昌治・詩　より

アスチカへのサポートについて

「たねまく広場」をご利用いただくことが有難いサポートです。お気軽に足をお運びください。
また、寄附金は右記の口座でお受けしています。

◆ゆうちょ銀行◆
【記号】15150　【番号】480341
【名称】ひろしま避難者の会　アスチカ
※ 他行からの振り込みの場合は
【店名】五一八　（読み　ゴイチハチ）　【店番】５１８
【預金種目】普通預金　【口座番号】0048034

アスチカサポートチーム参加者募集中！

【お問い合わせ】
082-962-8124
hiroshima.hinan@outlook.j

ひろしま避難者の会『アスチカ』や広域避難者を支えることはもちろん、さらに東日本大震災・福島第一原発事故により被災地から遠く離れ避難した「広域避難者支援」の課題や情報を共有したり、意見交換、共同イベント開催などを目指します。

「たねまく広場」について

Open　月・火・水・金・第 3 土曜　10:00～16:00（祝祭日は休み）

1. 食べ物の持ち込み自由！
   ※来られるお子さんの中にはアレルギーを持つお子さんがいることもあります。安全のため、お子さんへお菓子等飲食物を配られることはご遠慮ください。
2. ウォーターサーバーを設置し、セルフでご利用いただくｺｰﾋｰやお茶などご用意しています。（¥100～）
3. キッズスペースあります。　※保護者の方の見守りが基本ですが、金曜日は見守りスタッフがおります。
4. 被災地の地方新聞など、被災地や被災者にかかわる資料を自由にご覧いただけます。
5. 大テーブルは予約利用（10 時～13 時・13 時～16 時）が可能です。
   利用料:利用人数×¥500（セルフドリンクコーナー使用料含む）
6. 大テーブルを使ってのミニ教室開催が可能です。教室開催ご希望の方はご相談ください。
   （ミニ教室もセルフドリンクコーナーFREE）

物販あります！

上：たねまく広場
下：アスチカ事務局

2019年8月の予定

7/26 現在の予定です。

月	火	水	木	金	土	日
			1 休 休	2 ★キッズ見守り 福:〇相	3 休 休	4 休 休
福:〇	福:〇相	福:〇相				
5 福:〇	6 福:〇相	7 福:〇相	8 休 休	9 ★キッズ見守り 福:〇相	10 夏　季　休　業	11
12 夏　季　休　業	13	14	15	16 ★キッズ見守り 福:〇相	17	18 休 休
19 福:〇	20 福:〇相	21 ★占いの日 福:〇相	22 休 休	23 ★キッズ見守り 福:〇相	24 休 休	25 休 休
26 福:〇	27 福:〇相	28 福:〇相	29 休 休	30 ★キッズ見守り 福:〇相	31 休 休	

・「たねまく広場」の企画の詳細は3ページをご覧ください。

・「福：〇」と表記のある日は福島県の県外避難者生活再建支援事業を担う拠点のオープン日です。広島・山口・島根に住む福島県からの避難者が対象です。「相」と表記のある日は対象者からの相談受付窓口の開設日です。

「たねまく広場」のフェイスブックページあります。　https://www.facebook.com/TanemakuSq/